

4/9

市民の視点に立った  
行政サービスの

今

年度から試行的に実施する行政評価外部評価制度について、有識者や公募委員などで構成する7人の外部評価委員の皆さんに、市長が委嘱状を交付しました。

これまでは、市が行う行政サービスに対して、市職員が内部で評価を行なっていました。これに加え、外部評価を実施し、同委員を中心に、市民の視点に立った評価を行い、行政サービスの改善を図ります。8月上旬には、評価の過程の透明性を図るため「公開評価」を実施する予定です。

外部評価委員会委嘱状交付式



4/17

専門委員会が始動

平

成26年に開催される長崎がんばらんば国体の成功に向けて活動する「長崎がんばらんば国体大村市実行委員会」の専門委員会を市役所で行いました。

冒頭で市長は、「心に残る大会だ」と感じていただけたらいいな大会とするためご協力をお願いします。」とあいさつし、専門委員73人の皆さんへ委嘱状を交付しました。委員の皆さんは、総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通の4つの専門委員会に分かれて協議を行い、基本計画案を作成し、常任委員会へ報告されます。

長崎がんばらんば国体大村市実行委員会



4/25

市内の幹線道路の整備促進を目指して

市

の幹線道路の整備促進を図るため、市や商工会議所など12団体で組織する「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会」総会を市役所で行いました。

総会では、国道34号の久原2丁目交差点付近から与崎交差点までの拡幅工事が完了し供用開始されたことや、同期成会の活動を市民の皆さんへ周知するため、チラシを作成したなどが報告されました。同期成会では今後も協力し、国道34号の渋滞の緩和や幹線道路網の早期整備を目指して、国や県に対して要望活動を行なっていきます。

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会総会



今こそ国際交流を



若葉が萌え、日も長くなりました。

今年も市役所で仕事の後、職員の英会話教室が始まりました。

「ウーアーユー？」

「ラーン・ニアイム フェイン サンキュー」

講師は米国人の国際交流員・カイ君が昨年からはがらんに来ています。

大村公園の桜が満開だった4月はじめ、サンフランシスコ近郊のサンカルロス市姉妹都市協会のホフマンご夫妻が本市を訪問されました。昨年、夏以来の再会を喜びながら、7月の姉妹都市提携への思いを強くしました。

歓迎会や市内のご案内のほか、市内の学校ALTや英会話教室に参加している職員らが、大村公園の夜桜見物に、ホフマンご夫妻をご案内しました。ライトアップされた桜の美しさと日本酒に酔っていたらどうですか。形だけではない生きた国際交流が実りつつあります。

アメリカ留学をしたかった若い頃の私は、英語をマスターするのに懸命でした。大学3年の時、「スタンフォード大学交換留学生募集」の文字をキャンパスの掲示板で見つけて応募し、200人を超える応募者の中から10人の枠に選ばれました。日本語が通じない家庭へのホームステイ、3か月目には西海岸をひとり旅していました。

昭和40年、当時のアメリカは世界の繁栄を誇っていました。二度や二度失敗しても、がんばれば成功のチャンスを与えてくれる、そんな無限の可能性を秘めたアメリカに衝撃を受けました。若いときに外国を訪ね、見聞を深めることは実に大切なことだと思っています。近年、夢やチャレンジ精神を持って海外へ出て行く若者が少ないことは本当に残念です。外国へ出ることは日本と自分自身を知ることに、愛国心を醸成することにつながります。

「お詫び」市内の小中学校卒業式では全ての学校で「君が代」が歌われております。先月号の「コラム」で、福重小では歌われていないような表現をしてしまいました。私が強調したかったのは、「蛍の光」と「仰げば尊し」のことです。関係者の皆さまに深くお詫び申し上げます。

市長コラム

vol.10